

富士見市提案型協働事業概要書

令和 5 年 10 月 30 日

（宛先）富士見市長

団体の名称 傾聴ボランティア「やまぶき」
 代表者指名 瀬戸 千江
 提案希望者 所在地 [REDACTED]
 電話番号 [REDACTED]

団体概要	事務所の住所	富士見市 [REDACTED]	
	主な活動場所	富士見市内	
	構成員数・ 従業員数	うち市内在住・在勤・在学者の人数	14人 12人
事業の名称	傾聴ボランティア養成研修		
事業の内容	現在の課題	<p>少子化・高齢化・核家族化により、単身あるいは高齢者夫婦のみの世帯が増加している現状がある。更にコロナ禍等も重なり、高齢者の孤立化が深刻化している。隣人やコミュニティとの接点がなくなれば、「社会的孤立」が進み、運動機能の低下や幸福感が薄れて、うつ状態にも陥りがちになる。また、病気や心身機能の低下、認知症の傾向などが早期に発見されなければ、引いては孤独死や自殺などの社会問題にもつながってくることは容易に想像される。このような高齢者の現状を考えれば、地域や社会の公共的な課題が自ずと明らかになってくる。</p>	
	解決方法	<p>身近なところで高齢者の困りごとに気付き、傾聴や話し相手のできるボランティアを育成し、だれもが安心して暮らしていける地域づくりを目指す。そのために、市民を対象とした専門家による「傾聴ボランティア養成講座」を開催する。そして、基礎的な傾聴の知識を持ち、高齢者世帯への声掛けや話し相手のできるボランティア活動に参加する市民を増やして、高齢者を孤立させない地域づくりを推進していく。</p>	
	効果	<ul style="list-style-type: none"> 傾聴や話し相手ボランティア活動が広まれば、高齢者の社会的孤立を防ぎ、生きがいや幸福感を実感できるようにもなるだろう。 高齢者の傾聴や話し相手をして、その体調の変化や悩みを聞くことができれば、早期に行政機関や相談窓口につなげることができるし、ひいては介護予防や認知症予防にもつながる。 ボランティア活動に関わる市民が増えれば、市民の生きがいづくりの創出にもつながる。また、市の「あんしん元気生き生きプラン」の重点施策である「お互いを支えあう地域づくり」の推進にも寄与することになる。 	
役割分担	団体	<ul style="list-style-type: none"> 研修会の企画・開催 研修会周知のためのチラシの作成・配布 	
	市担当部署	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉課 <p>（研修会会場の確保、広報ふじみ・市 HP への掲載）</p>	

